

別紙資料

1. 21世紀海域学プロジェクトのイメージ
2. 立教大学所蔵外邦図インデックスマップとその閲覧方法
3. 外邦図+GIS 地図デジタルアーカイブのイメージ
4. 「欧文アジア関係文献集成:東南アジア編」原典表紙、及びその整理した成果
(1)文献総数 (2)Reel 37, Location 4.0001 オランダ語 (3)欧文オランダ語
(4)Reel 102, Location 2. 0001 スペイン語 (5)欧文スペイン語

<成果報告書・研究報告書>

5. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2013 年度研究報告書1表紙、及び目次
6. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2014 年度研究報告書2表紙、及び目次
7. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2015 年度研究報告書3表紙、及び目次

【2013 年度】

8. アジア地域研究所 2013 年度公開講演会、
2013 年 10 月 19 日(土)実施、ポスター
9. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2013 年度公開シンポジウム、
2013 年 12 月 22 日(日)実施、ポスター
10. ベトナムダラット開催展覧会「Đà Lạt - Et la carte créa la ville...」図録
2013 年 12 月 9 日から 2013 年 12 月 15 日実施展覧会(1)図録表紙(2)(3)提供外邦図掲載2頁
11. 2014 年 2 月発行『立教大学所蔵 外邦図目録』(1)表紙、(2)本文1頁目
12. 2014 年 3 月発行「なじまあーAccessible Asia-」04 号(1)表紙、(2)目次、(3)外邦図コラム

【2014 年度】

13. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2014 年度研究セミナー、
2014 年 5 月 17 日(土)実施、ポスター
14. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業共催 2014 年度公開講演会、
2014 年 5 月 30 日(金)実施、ポスター
15. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2014 年度公開シンポジウム、
2014 年 6 月 21 日(土)実施、ポスター
16. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2014 年度公開講演会
2014 年 6 月 22 日(日)実施、ポスター
17. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2014 年度第2回公開シンポジウム、
2014 年 11 月 16 日(日)実施、ポスター
18. 2015 年 3 月発行「なじまあーAccessible Asia-」05 号(1)表紙、(2)目次、(3)外邦図コラム

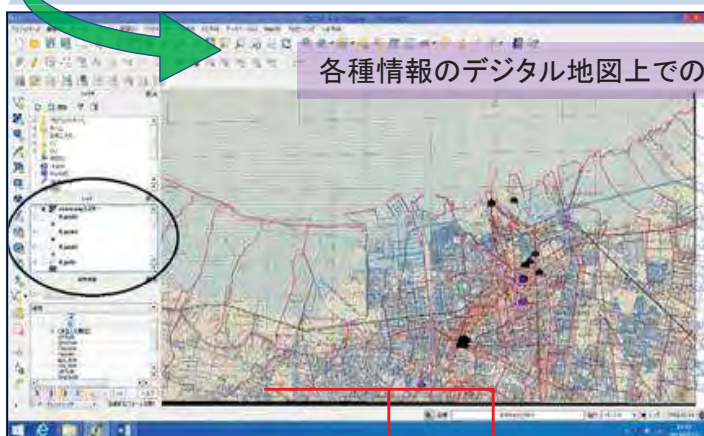
【2015 年度】

19. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2015 年度第1回公開シンポジウム、
2015 年 4 月 25 日(土)実施、ポスター
20. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2015 年度第2回公開シンポジウム、
2015 年 6 月 27 日(土)実施、ポスター
21. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2015 年度第3回公開シンポジウム、
2015 年 11 月 14 日(土)実施、ポスター
22. 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 2015 年度第4回公開シンポジウム、
2015 年 12 月 12 日(土)実施、ポスター

21世紀海域学プロジェクト概要図



GISソフトによる、
デジタル化、
各種情報の
重ね合わせ作業



各種情報のデジタル地図上での統合

各チームの役割

統括チーム: 外邦図の整理デジタル化、各種情報の地図上での重ね合わせ、データベース化、各チーム間の調整。

歴史学チーム: 史料にもとづく歴史的事象の検討。
「欧文アジア関係文献集成：東南アジア編」内容の分析。



文化学チーム: フィールドワーク、文学作品などからの情報、写真などからの知見集約。



政治学チーム: 海域の安全保障問題などの課題を空間的に把握。文献収集、海の戦争と平和の歴史的過程の分析



観光学チーム: 観光に関する文献収集・海域のホテルネットワーク、海浜リゾートなどの研究。



アジア地域研究所
(本プロジェクト)

海域学研究拠点・情報センター

21世紀「海域学」の創成

【研究成果の公開】

研究セミナー
公開講演会・公開シンポジウム
研究報告書
『なじまあ』(アジア地域研究所年報)

★論集『海域学』の刊行★

【資料に関する情報提供】

デジタルアーカイブの公開
学術リポジトリによる公開
海域学に関する各種情報提供
海域に関するシンクタンク機能

立教大学所蔵外邦図インデックスマップとその閲覧方法

- 立教大学アジア地域研究所所蔵の外邦図について、Google マップ上にインデックスマップとして提示。
- ネット上で公開しているインデックスマップのイメージは下記の図1に示す。

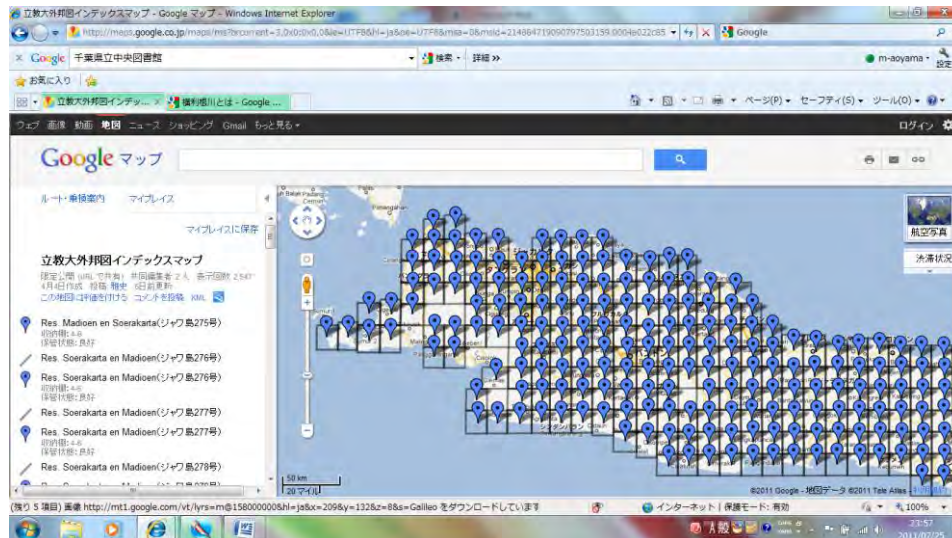


図1 ジャワ島 1/5 万外邦図インデックスマップの一部

- インデックスマップ上の枠をクリックすると、外邦図各図幅の図幅名、図示されている領域、保管場所（どの棚に保管されているか）、保管状態（破損、紙焼け、折れの有無など）などの情報が示される。

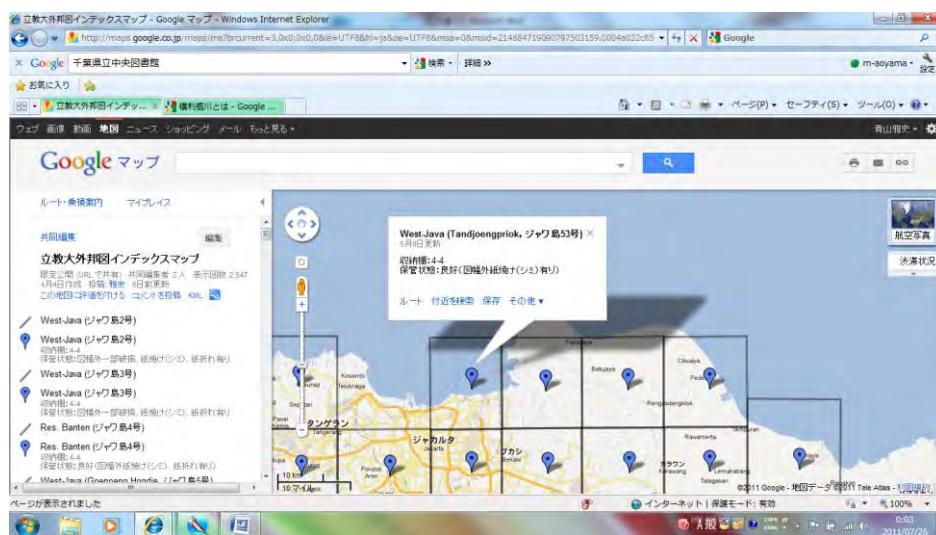


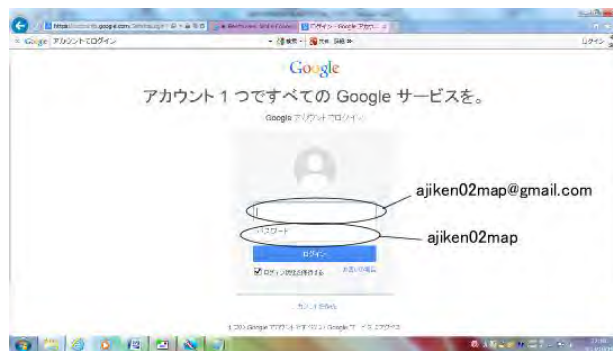
図2 ジャワ島 1/5 万外邦図インデックスマップでの入力内容例

- 外邦図インデックスマップ閲覧方法

① インターネットからグーグルのサイトにアクセス。

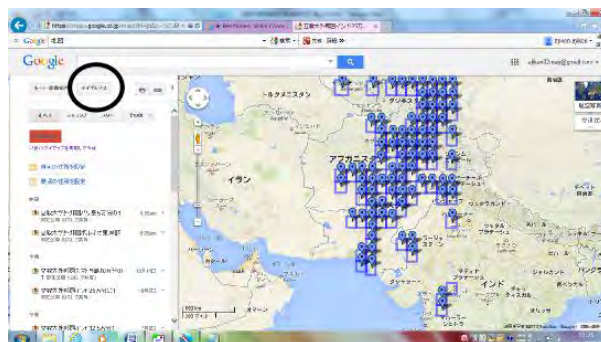


② Google トップページ右上の「ログイン」をクリック



③ ログインページでアカウント名（メールアドレス）を **ajiken02map@gmail.com** と入力

④ その下のパスワード欄に **ajiken02map** と入力



⑤ ログイン後、Google マップページ左上の「マイプレイス」をクリックすると、アジア地域研究所が収蔵している外邦図の一覧（地域、縮尺）が表示され、閲覧したい外邦図をクリックすると、その地域の外邦図インデックスマップが表示される。

外邦図+GIS 地図デジタルアーカイブのイメージ インドネシア・スマランを事例として

本プロジェクトでは、外邦図にデジタル地図を重ね合わせ、その上にフィールドワークで撮影した位置データ付き写真、史料から抜粋した情報などをリンクさせている。1940年代の景観とさまざまな情報とを関連づけることにより、歴史的な過去と現在とを結び合わせ、海域学研究的基盤を形成する。特に、前近代から港町として反映した港市を対象に、デジタルアーカイブ構築を進めている。

一例として、インドネシア・ジャワ島のスマランの整理状況を紹介する。

利用に当たっては、QGIS（地理情報システムの閲覧、編集、分析機能を有するクロスプラットフォームのオープンソースソフトウェア・GISソフト）がパソコンにインストールされていることが前提となる。

⇒ <https://www.qgis.org/ja/site/forusers/download.html>

- 「スマラン QGIS」フォルダ内のファイル「スマラン QGIS」を開く

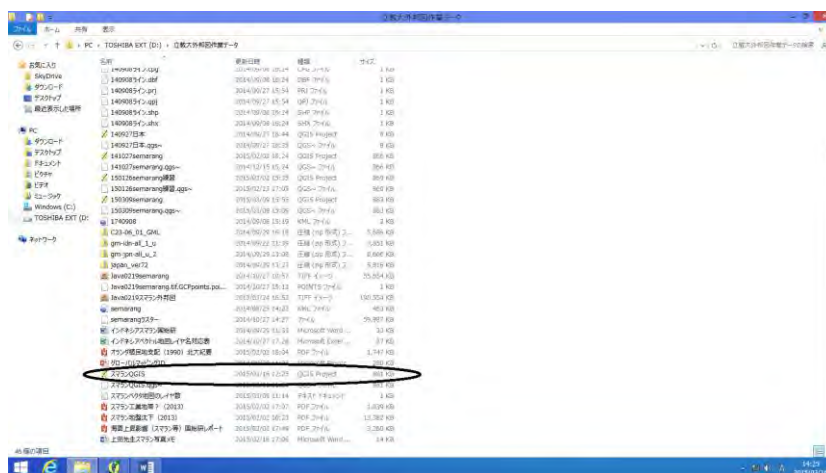


図1 「スマラン QGIS」フォルダ

- メイン画面左側のレイヤリストで表示させたいレイヤの選択が可能

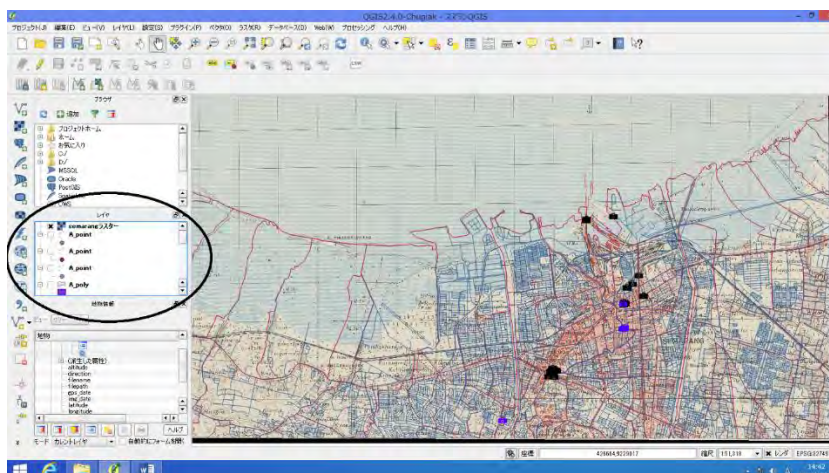


図2 スマランの外邦図とデジタル地図のレイヤを表示した場合
着色された図が外邦図、赤線で示されている図が現在のデジタル地図の道路網

※レイヤリストでチェックを入れたレイヤのみがメイン画面上に表示される

※スマラン市街地の外邦図を表示させたい場合は、「semarang ラスター」にチェックを入れる

※現在の道路網を表示させたい場合は、「K-arc」にチェックを入れる

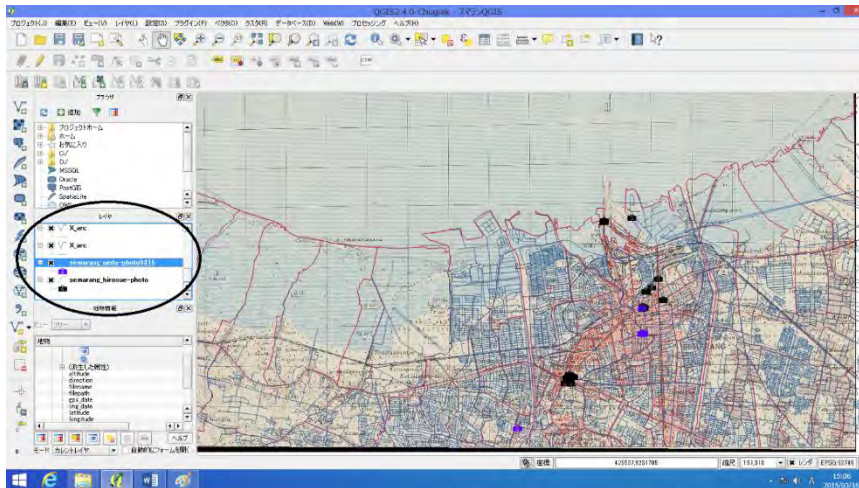
※各レイヤの内容については、「スマラン QGIS」フォルダ内の「インドネシアベクトル地図レイヤ名対応表.xls」に記載されている。

● GPS 機能付きカメラで撮影した写真を閲覧したい場合

※あらかじめ「プラグイン」の一覧中にある「Photo2Shape」をインストールしておく必要がある

① 上田が撮影した写真を閲覧する場合は、レイヤリストの「semarang_ueda-photo03115」にチェックを入れる。

弘末が撮影した写真を閲覧する場合は、レイヤリストの「semarang_hirosue-photo」にチェックを入れる。



② レイヤリストの「semarang_ueda-photo03115」（弘末撮影の写真を閲覧する場合は「semarang_hirosue-photo」）の上で左クリックし、写真のレイヤが選択されている状態にする（選択されているレイヤが青く表示される）

③ 上部中央付近のアイコンの「写真を開く」を左クリックし、選択された状態にする（「写真を開く」が青く表示された状態にする）



④ 写真を撮影した地点にカメラアイコンが表示されており、そのアイコン上でカーソル（十字）を左クリックすると、その地点で撮影された写真が表示される

『欧文アジア関係文献集成：東南アジア編』

マイクロフィルムおよび所収文献総数

・マイクロフィルム本数および文献数

マイクロフィルム：163本

所収文献：1016タイトル

【※但し1タイトルに複数の文献が所収されている文献も多数あり】

・構成

Part 1: 16th and 17th century titles. (Reels 1-12) 80タイトル

Part 2: 18th century titles. (Reels 13-49) 120タイトル

Part 3: 19th century titles in English. (Reels 50-82) 201タイトル

Part 4: 19th century titles in languages other than English. (Reels 83-119) 254タイトル

Supplement to Part 2: 18th-century titles. (Reels 120-131) 40タイトル

Supplement to Part 3: 19th-century titles in English. (Reels 132-136) 45タイトル

Supplement to Part 4: 19th-century titles in languages other than English. (Reels 137-163)
276タイトル

ル

・使用言語

フランス語：406タイトル

英語：336タイトル

スペイン語：117タイトル

ドイツ語：78タイトル

オランダ語：54タイトル

ラテン語：10タイトル

イタリア語：9タイトル

ポルトガル語：5タイトル

ロシア語：1タイトル

VERHANDELING OVER DE ROTKOORTZEN,

Welke in de voorige jaaren, voornaamelyk van 1770 tot 1774., zoo wel te Land als inzonderheid op de uitgaande O. I. C. schepen, geregeerd hebben.

W A A R I N

Derzelver oorsprong, voortgang, aart en waare gesteldheid onderzocht; de behoedmiddels daartegen aangewezen, en de Geneeswys daarvan beschreeven word.

V O O R T S

De beste wys, om by stormend en regenachtig weder in een beslooten Schip frische en zuivere lucht te brengen, door middel van eene verbeeterde stelling des Luchtzeils, en het plaatzen van eene door den Schryver NIEUWUITGEVONDENE

*VEILIGE EN WELWERKENDE
M A C H I E N E.*

N E V E N S

Een onpartydig betoog van de nuttigheid der DRIEDEKS boven de TWEEDEKS SCHEPEN, en aanwyzing van verscheidene misbruiken in de Schepen, benevens de middels tot herstel derzelven.

MET TWEE OPHELDERENDE PLAATEN,

D O O R

JOAN FERDINAND ELLERBECK;

Opper Chirurgyn in dienst der Ed: O. I. Comp.



Te R O T T E R D A M,

By J A C O B U S B R O N K H O R S T,

en zyn mede te bekomen te Middelburg

By C. B O H E M E R.

M. D. C. C. L. X. X. X.

オランダ語分

Reel 37

Location 4

Reel 127

Location 2

著者

Ellerbeck, Joan Ferdinand.

タイトル

Verhandeling over de rotkoortzen, welke in de voorige jaaren, voornaamelyk van 1770 tot 1774., zoo wel te land als inzonderheid op de uitgaande O. I. C. scheepen, geregeerd hebben. Waarin derzelver oorsprong, voortgang, aart en waare gesteldheid onderzocht; de behoedmiddels daartegen aangewezen, en de geneeswys daarvan beschreeven word. Voorts de beste wys, om by stormend en regenachtig weder in een beslooten schip frissche en zuivere lucht te brengen, door middel van eene verbeeterde stelling des luchtzeils, en het plaatzen van eene door den schryver nieuw uitgevondene veilige en welwerkende machiene. Nevens een onpartydig betoog van de nuttigheid der driedeks boven de tweedeks schepen, en aanwyzing van verscheidene misbruiken in de schepen, benevens de middels tot herstel derzelven. Met twee ophelderende platen, door Joan Ferdinand Ellerbeck, opper chirurgyn in dienst der Ed: O. I. Comp.

かつて、主に1770年から1774年に陸上と外国へ向かう東インド会社の船舶において管理された伝染性の熱病に関する論考。その起源や進行、性質、状況を検討し、そこから熱病に対して示された治療法、また、空気を入れるために改善した航行手段による荒天や雨天の際に閉じ込められた船内へ新鮮かつ清潔な空気をもたらすために最良な方法、著者により新たに考案された安全かつ機能性の高い機械のある船内、加えて、2層デッキ船に対する3層デッキの効用に関する公平な論証、船舶における様々な失敗の説明、さらには、その修正手段について、それぞれ記述。説明用図版2点を付記。尊敬すべき東インド会社にて上級外科医として従事したヨアン・フェルディナント・エレルベック著。

版情報

[無し]

出版情報

Te Rotterdam : By Jacobus Bronkhorst , 1780.

En zyn mede te bekomen te Middelburg : By C. Bohemer.

言語

Dutch

テーマ

医学、造船

地域

[オランダ、インドネシア]

ページ

xvi, 176 pages, II leaves of plates : illustrations

RESEÑA HISTORICA

別紙 4(4)

DE LA GUERRA

AL SUR DE FILIPINAS,

SOSTENIDA

POR LAS ARMAS ESPAÑOLAS CONTRA LOS PIRATAS

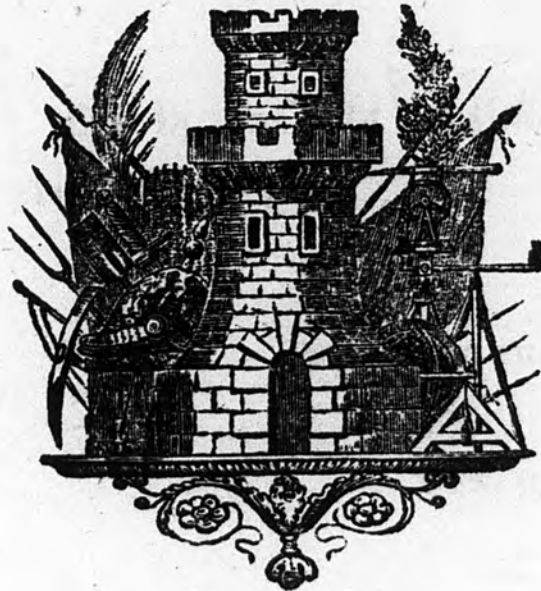
DE AQUEL ARCHIPIELAGO,

DESDE LA CONQUISTA HASTA NUESTROS DIAS.

POR EL CORONEL

DON EMILIO BERNALDEZ,

CABALLERO DEL HÁBITO DE SANTIAGO,
DE LA REAL ÓRDEN AMERICANA DE ISABEL LA CATÓLICA,
DE LA MILITAR DE SAN FERNANDO DE PRIMERA CLASE,
CONDECORADO CON LA CRUZ DE DISTINCION DE JOLÓ,
INDIVIDUO DE LA SOCIEDAD DE AMIGOS DEL PAIS DE FILIPINAS,
OFICIAL DE INGENIEROS DEL EJÉRCITO, ETC., ETC.



MADRID:

IMPRENTA DEL MEMORIAL DE INGENIEROS.

1857.

スペイン語分

Reel 102

Location 2

著者

Bernaldez, Emilio.

タイトル

Reseña Historica de la Guerra por las Armas Españolas Contra los Piratas de Aquel Archipiélago, desde la Conquista hasta Nuestros días. Por el Coronel Don Emilio Bernaldez, Caballero del Hábito de Santiago de la real órden Americana de Isabel la Católica, de la militar de San Fernando de Primera Clase, Condecorado con la cruz de distincion de Joló, individuo de la sociedad de amigos de pais de Filipinas, Oficial de ingenieros de ejército, Etc., Etc.

征服の時代から現在までの（フィリピン）諸島の海賊に対抗して起こったスペイン軍による戦争の歴史の記述。ドン・エミリオ・ベルナルデス大佐著。イサベルカトリック女王アメリカ王立騎士団のアビト・デ・サンティアゴ騎士団の騎士、第一級サン・フェルナンドの軍人、ホロの榮譽の十字架を授けられ、フィリピン国社会の一員、軍事技師の将校等々。

版情報

〔無し〕

出版情報

Madrid : Imprenta del Memorial de Ingenieros, 1857 .

言語

Spanish

テーマ

戦争

地域

フィリピン

ページ

243, [4] p. : 3 fold. maps.

21 世紀海域学の創成

— 「南洋」から南シナ海・インド洋・太平洋の現代的ビジョンへ —

研究報告書 1



平成 27 年 3 月

立教大学アジア地域研究所

Centre for Asian Area Studies, Rikkyo University

目次

I. 構想調書抜粋	p.1
II. 公開シンポジウム「防災における文化の役割—国際防災協力と災害文化の醸成—」	
◆ 開会挨拶	p.5
◆ 高藤洋子「先人の知恵に学ぶ防災—インドネシア・シムル島およびニマス島の事例—」	p.6
◆ 鈴木佑記「海と民話と高台と： 2004年インド洋津波を回避した海の民モーケンの事例」	p.19
◆ 西田昌之「災害文化創造の試みと課題—タイ国タクワパー郡バーナムケムのコミュニティ防災—」	p.26
◆ 前林清和「わが国における津波伝承としての石碑を問い直す」	p.33
◆ 濱田圭吾 コメント1	p.39
◆ 中島邦公 コメント2	p.42
◆ 澤山利広 コメント3	p.43
◆ パネルディスカッション	p.44
◆ 閉会挨拶	p.57
III. 公開講演会	
重松伸司「陸境のアジア、海境のアジア—『海域』研究の一試論—」	p.58
IV. 公開シンポジウム「海域学の展望を拓く—過去から現在、そして未来へ—」	
◆ 開会挨拶	p.71
◆ 上田信「21世紀海域学の課題」	p.72
◆ 太田淳「貿易、戦争、移民：18-19世紀マレー海域の海賊」	p.78
◆ 堀本武功「現代インド洋を考える」	p.91
◆ パネルディスカッション	p.102
V. 研究セミナー1	
◆ 開会挨拶	p.120
◆ 青柳まちこ「日本が夢見た南の島々」	p.121
◆ 梅原弘光「スペインのフィリピン群島占領と住民の抵抗」	p.129
◆ 小西正捷「南アジアの海域世界—地域区分の試み—」	p.153
◆ おわりに	p.167
VI. 研究セミナー2	
倉田明子「ギョツラフと東・東南アジアにおけるプロテスタント布教」	p.171

表紙：ポロブドゥール寺院遺跡のレリーフ

21 世紀海域学の創成

— 「南洋」から南シナ海・インド洋・太平洋の現代的ビジョンへ —

研究報告書 2



平成 27 年 7 月

立教大学アジア地域研究所

Centre for Asian Area Studies, Rikkyo University

目次

I. 研究セミナー「外邦図と水路図」

- 開会挨拶 p. 1
- 小林茂「東南アジアの近代地図整備過程における外邦図」 p. 3
- 舩谷鋭 コメント1 p. 19
- 今井健三「昭和初期から終戦までに水路部が作製した機密海図について
—その作製背景と内容及び整理状況と利用の可能性—」 p. 23
- 大塚直樹 コメント2 p. 35
- ディスカッション p. 39

II. 公開シンポジウム「南洋と沖縄」

- 開会挨拶 p. 47
- 豊田由貴夫「南洋とは何か」 p. 49
- 藤林泰「かつお節から見た沖縄と南洋の出会い」 p. 55
- 小西潤子「もうひとつの沖縄音楽の足跡 —南洋における音楽交流—」 p. 71
- 瀬名波孝子・伊良波さゆき・細井尚子「沖縄芝居の南洋巡業」 p. 81

III. 公開講演会「沖縄芝居に見る大衆娯楽の『近代』」

- 開会挨拶 p. 93
- 細井尚子「沖縄芝居の紹介」 p. 95
- 瀬名波孝子・伊良波さゆき・細井尚子「瀬名波孝子の芝居人生」 p. 99

IV. 公開シンポジウム「日本占領下の南洋」

- 開会挨拶 p. 115
- KRATOSKA, Paul「日本占領下のマラヤ」 p. 117
- 後藤乾一「日本のインドネシア占領を考える」 p. 127
- 松永典子「日本占領下の東南アジアにおける日本語教育
—マラヤ、北ボルネオを中心に—」 p. 137
- 姫本由美子「日本占領下インドネシアで語られた「大東亜共栄圏文化」の理念
—日刊紙「アジア・ラヤ」上の日本徴用文化人と現地作家の論説を中心に—」 p. 145
- ディスカッション p. 159
- 閉会挨拶 p. 164

表紙：マカオ媽閣廟の岩に刻まれたジャンク

21 世紀海域学の創成

— 「南洋」から南シナ海・インド洋・太平洋の現代的ビジョンへ —

研究報告書 3



平成 28 年 3 月

立教大学アジア地域研究所

Centre for Asian Area Studies, Rikkyo University

目次

I. 公開シンポジウム「近世から近現代に至る海域世界の社会統合」	
◦ 開会挨拶	p.1
◦ 重松伸司「17～18世紀インドにおけるアルメニア海洋商人と英国東インド会社 「1688年協約」をめぐって」	p.3
◦ 太田淳「南西カリマンタンの移民と社会変容」	p.11
◦ 弘末雅士「東インドにおけるヨーロッパ系住民と現地人妻妾 植民地体制下の婚姻をめぐって」	p.19
◦ 山口元樹「東インドにおけるアラブ系住民と社会統合 インドネシア・アラブ人協会によるイスラーム主義とナショナリズムの融合」	p.31
◦ 豊田由貴夫「オセアニアにおけるBeachcombers」	p.41
◦ 吉原和男「タイの華人同姓団体 家族会・族親会に注目して」	p.51
◦ 栗田和明「東南アジアにおけるアフリカ系移住者」	p.65
◦ パネルディスカッション	p.77
II. 公開シンポジウム「貿易陶磁と文献史料から東アジア・東南アジアの歴史を考える 16世紀・17世紀を中心とした海域におけるヒト・モノの流れ」	
◦ 開会挨拶	p.87
◦ 坂井隆「アジア陶磁貿易史での台湾の役割」	p.89
◦ 金沢陽「後期倭寇研究の成果から見た、 16世紀東シナ海の政治・経済情勢と貿易陶磁」	p.105
◦ 宮田絵津子 「マカオ出土の中国陶磁 マカオ - マニラ - アカプルコへのつながり」	p.121
◦ 久礼克季 「台湾鄭氏 - 中国南部 - 東南アジアを結ぶ諸条件とオランダ東インド会社」	p.133
◦ 伊川健二「ルソン壺交易と日比通交」	p.149
◦ 総合討論	p.167

表紙：ムスリム鄭和のレリーフ